

申3号「2024年3月ダイヤ改正等について（盛岡車両センター）」に関する申し入れ 団体交渉①

1. 「2024年3月ダイヤ改正等について」において、盛岡車両センターの業務執行体制の見直しを行う根拠を明らかにすること。

回答 業務等を総合的に勘案し、体制を見直していくところである。

【主な議論内容】★組合 ・会社

★体制見直しを行う根拠は何か。

・ SL 銀河の定期運行が終了したことで、盛車セの業務を総合的に見て判断した。大きくは「ひなび」の転配があったり、青森改造基地の整理等があったので体制見直しとした。

★2019年に盛岡車両センターの交番検査一部委託の施策があり、その時にはSL班は解消したと認識していたが、その時点でSL班としての6名は無くなったのではないのか。

・ その時点で6名が無くなっている認識はない。SLの業務も行うが365日SLの業務はないので、当時盛岡車両センターの中で効率的に業務を行っていくことと認識している。

★出面数を6削減するメリットは何か。

・ 出面を整理することによって効率的に行っていく考えである。

★出面数の整理をして効率的に業務を行うと回答があったが、出面数の整理が目的なのか。結果的に出面数の整理が出てくると思っている。業務が減るから出面数の整理となることは理解するが、出面数の整理が先に
来てしまうと、実態が違うのに前面に出てしまうと職場との現実が乖離してしまう。

・ 先に業務の見直しがあり結果的に出面数の整理となったという認識である。

★そうすると、盛岡と八戸の作業の見直しによる出面数の削減となるのか。

・ 大まかに言えばそうなる。

体制見直しの根拠を確認！

2. 2025年2月までC58の動態保存を行うにあたり、交番検査は誰が行うのか明らかにすること。

回答 現行通りの取扱いとなる。

【主な議論内容】★組合 ・会社

★2025年2月まで動態保存を行うことを盛岡支社との団体交渉で議論している。その際、交番検査も行うと認識しているが誰が行うのか。

・ 現行もSLを担当し経験している社員が担っているが、引き続き交番検査もその社員に担っていただきたいと考えている。2025年2月の動態保存までは交番検査は行う。

★2025年2月まではSLの交番検査という業務は残ることとなる。担当も現行の体制として担っていくことだということの良いか。

・ その通りである。出面数となると運行に必要な部分として見ているので、今の議論は動態保存を行うための交番検査となるので、運行のためとは少し違う認識である。さらに盛岡車両センターの業務等の繁閑もあるため、効率的に見ていくこととなる。

★2025年2月までは動態保存をするための交番検査が出来る体制は会社として作っていくことは確認するが2025年2月以降はどうなるのか。

・ 2025年2月以降は交番検査を行わない認識であるため、任用の基準に則って配置を行っていく。

2025年2月までの体制を維持していくことを確認！

申3号「2024年3月ダイヤ改正等について（盛岡車両センター）」に関する申し入れ 団体交渉②

3. S L 担当者は他車種の交番検査等も行っているため削減数を見直すこと。また、業務を安全に行うための現在員数を確保すること。

回答 業務に必要な体制は確保していく考えである。

【主な議論内容】★組合 ・会社

★2025年2月の動態保存に向けて現在員数は確保していくことで良いか。

・その通りである。

★いきなり出面数 6 削減は現場の現実合っていないのではないかという声を受けていた。S L 担当者は他車種の交番検査も行っている認識だが会社の認識はどうか。

・その認識はある。

★ただ現実とすると業務は残っている認識で、現在員数は確保していくということで良いか。

・出面数削除イコール現在員数削除ではない。

★S L の交番検査を行う現在員数を確保していくところの中で、未来への1つのタイミングとすれば 2025年2月の動態保存のタイミングとなるが、そのタイミングで現在員数を見直していくとなるのか。

・そのタイミングもあると思うが、S L が静態保存となったからすぐというわけではなく、需給のバランスを見ながらとなる。

2025年2月の動態保存に向けての現在員数は確保していくことを確認!

4. 2025年2月までの動態保存と、以降もS L を活用し東日本大震災からの復興と地域活性化等に取り組むこと。

回答 引き続き復興支援や地域活性化等に取り組んでいく考えである。

【主な議論内容】★組合 ・会社

★S L は魅力のある列車だという思いと、東日本大震災からの復興や地域活性化にむけてシンボルとなる車両だと受け止めている。労働組合とすれば今後もS L を活用して地域活性化や東日本大震災からの復興に取り組んでいきたい。そのような認識、視点での議論となるが回答でもある引き続きの具体的内容は何か。

・盛岡支社でも沿線地域とつながりがあるので引き続き地域活性化等に取り組んでいく。S L に関してはこの間の議論でもある通り、活用策については社員の発意に基づいていくスタンスには変わらない。

★職場のモチベーションとしても、委員会等を活用してS L を活用してやっていくことや、労働組合としてもアイデアを出しながら、どうやってS L を活用して地域活性化できるのかを議論してきている。東北本部として「S L を活用して」という主語として検討しているものはあるのか。

・東北本部としては盛岡支社と同じスタンスである。現場発意のもとに協力していくというスタンスである。イベントを通じて臨時列車を出してということは、やらないスタンスではない。

★動態保存までの期間もそうだし、静態保存になってもS L を活用して何か出来ることはないかという考えは持っているということか。

・その考えは持っている。盛岡支社と連携してやっていきたい。

全4項目終了! S L を活用して東日本大震災からの復興と地域活性化に取り組もう!